

迎春



午
2014

安全・安心と幸せを実感できる
元気な“かのや”を創る

鹿屋市長 嶋田芳博

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年中は、本市の市政運営にあたり、皆さまのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は2020年夏季オリンピックの東京開催が決定し、日本全国が盛り上がった年でした。

これまで鹿屋体育大学からは、アテネで金メダルを獲得した柴田選手をはじめ、3大会連続で現役の学生がオリンピックに出場しており、鹿屋体育大学関係者の東京オリンピックでの活躍が大いに期待されるところでございます。

また、プロ野球選手をはじめサッカー、バレー、ゴルフなど多くのプロスポーツ選手が本市において、自主トレや合宿、スポーツ教室を行ってくれました。

中でも、毎年帰省して自主トレを行っている阪神タイガース大和選手の、甲子園応援ツアーを企画したところ、80名もの市民の皆様にご参加いただきました。

私も応援に行きましたが、大和選手のサヨナラヒットという劇的勝利に球場全体が大和コールに包まれ、多くの皆様に感動を与えてくれました。

一方市政運営につきましても、地方を取り巻く厳しい経済状況の中、私は「元気なかのやづくり」を推進するため、様々な施策に取り組んでまいりました。特に、市民の安全・安心な暮らしを確保するため、防災情報をはじめ地域情報を伝達できる「防災行政無線システム」の整備を進めております。一部の地域ではすでに運用されており、平成27年度には全ての地域で設置を終える予定でございます。

また、鹿屋を舞台に特別攻撃隊を題材とした百田尚樹氏のベストセラー小説「永遠の0」が映画化され、昨年12月21日に全国公開されました。主演の岡田准一さんも先月、鹿屋基地史料館を訪れるなど、今後、この映画をきっかけに鹿屋を訪れる方も増えるものと思われまます。

私は、これを機に更なる交流人口の増加促進を図るため、これまで続けてきた福岡・大阪でのトップセールスによる、特産品の紹介やかのやばら園等のPR活動をさらに範囲を広げるなど、充実させていきたいと考えております。

後とも、「鹿屋に住んで良かった」と思っていただけのように、全身全霊を傾注し、市政運営に努めてまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が、市民の皆様にとって幸せに満ちた年となりますことを心から祈念申し上げ、新年の挨拶いたします。